

ニラクが地域活性へ「エンジン」始動

更なる社会貢献活動で地域を楽しく

「楽しい情報」発信の中心に

福島県を中心にパチンコホール事業をはじめレストランやホテル運営などを手掛ける㈱ニラク（郡山市、谷口久徳代表取締役社長）は、世の中を「明るく、楽しく、面白く」していくことを経営理念に、地域社会



子供たちや障害者をニラクシートに招待

に貢献する活動を行っている。そして新たに、地域活性の原動力になりたいとの思いから「アクティブ・ローカル・エンジン」というコンセプトを掲げた。いままで眠っていた地域の魅力を「燃料」に、それらを見付け、掘り起こし、エンターテインメントとして広げていく。一人の「楽しい」をみんなの「楽しい」へ変えていくと、きっと地域は輝き出す。同社の大石明徳取締役財務担当経営企画室長は、

「我々は地域にやさやかな憩いや楽しさを提供する業種です。パチンコホールという事業は、何十キロも先からお客様を集める商売ではなくて、近隣の人たちに日常生活の中で楽しんで頂く商売なんです。」

そこで、地域の人たちにしつかり認知して頂きたいという思いから、例えば年配の方々がコーラスをやっているよとか、バンド活動をしているよとか、楽しい飲食店があるよとか、そういう情報の交差点といえますか、我々がその中心になって発信してあげたらどうだろうと考えたんです。地域の人たちとのつながりを、我々が中心となってつくり上げていけたら楽しいのではないかなと。地域の人たちの「楽しい」や「面白い」を集めて、みんなで地域を楽しくしていきたいと思います。我々がそのエンジンとして活動していきましょうという思いで取り組んでいます。」



景品コーナーでファイヤーボンズグッズを展開

「観戦された利用者、家族は、白熱した試合を間近で見ることが出来る。翌日はその話題で持ちきりでした。今後このような機会を頂けるなら、気持ちのリフレッシュを図り、充実した生活を送ることが出来ますし、選手たちと触れ合うことで活力や外に出る機会が増えていきます」と感謝の声が聞こえてくる。

と話している。

プロバスケットで子供を元気に社会貢献の一環として、同社では10年ほど前から各店舗で地域の清掃活動を行っている。ニラク美術館通り店では、毎月1回、プレミアムフライデーの日に郡山市が取り組む美化活動「アイラプロード事業」と合わせて、店舗近くの「ゆうゆう地下道」を清掃しており、6月30日には、地元プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」の選手も参加して清掃活動を行った。

ファイヤーボンズは、郡山市の専門学校「FSGカレッジリーグ」が中心となって運営会社が設立され、平成25年に誕生したが、ニラクとは誕生以前からのつながりを持つ。

「もともととは、震災のあと、外で遊べない子供を元気にするために何かをしたいと考えたFSGの学生さんのアイデアなんです。室内スポー

ツがいいとなったのですが、意外と福島県はバスケットが盛んで強いんですね。バスケットを通して子供を元気にして、明るい笑顔を取り戻させたいという話がきっかけでした」（大石室長）

その後、プロチームをつくらうという話に進展するが、「子供を元気にする」「地域を活性化する」といった当初の趣旨の延長線上であるのなら、ニラクはファイヤーボンズのスポンサーに就いた。そして、福島復興のため、次世代を担う子供たちに夢や希望を与えるファイヤーボンズを応援し、ホームゲームの毎試合、地域の子供たちや障害者を持たれている人々を招待している。

「まずは子供たちにたくさん来て欲しいと思って、ニラクシートを提供しています。また、普段スポーツに接することの出来ない病気の方や車いすの方、障害を持たれた方にも観戦して頂けるよう、アリーナ席も提供しています。」

と大石室長が話すように、迫力あるプロの試合を間近で観戦する機会をつくり、「元気を生み出している。更に今年4月からは県内3店舗の

景品コーナーでファイヤーボンズグッズを展開し、収益の一部は、ファイヤーボンズを通してユースチームをはじめとする子供たちのために、練習用バスケットボールの寄贈などに充てるプロジェクトも始めている。

試合観戦への招待について、障害者の事業所に周知し、招待人数の調整を行っている（社福）郡山市社会福祉協議会の担当者は、

「プロのバスケットボールの迫力ある試合を観戦し、招待された方々からは大変、喜ばれています」と話し、観戦者や事業所関係者からも、

「出掛ける機会も少なく、実際の試合を観ることも少なかったのですが、近くで生のゲームが観られ、選手の手動きにワクワクして、観戦した多くの利用者は喜んでいました。選手とのタッチも出来、感動的でした。」

「スポーツ観戦は、普段の生活ではなかなか体験の出来ないことなので、利用者さんたちは、とても楽しんで観戦しています。利用者さん同士や家庭での会話にも花を咲かせることが出来、家族や職員一同、とても喜んでいきます。作業への活力源です。」



釈迦堂川花火大会では須賀川店を無料開放

釈迦堂川花火大会はニラクで今年8月26日（土）に行われる須賀川市釈迦堂川花火大会。大会当日、会場近くのニラク須賀川店が休



釈迦堂川花火大会当日のお子様縁日

業し、駐車場を花火観覧スペースとして無料開放していることをご存知の方は多いだろう。平成14年からの取り組みで、近年では屋台出店や手作り感のあるイベントステージなども設けて、地域の人々に親しまれていく。24時間テレビのチャリティー募金活動も風物詩の一つ。たくさん来場者が夏のひと時を楽しんでいる姿を見ることが、同社スタッフの楽しみにもなっているという。

地域を楽しくするエンジンとして始動した、ニラクの更なる社会貢献活動に期待しよう。